

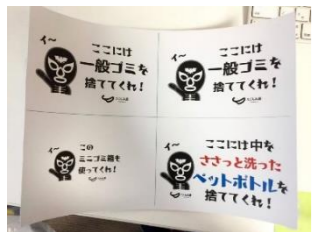
なぜ、たくらみ屋なの？ たくらみ屋の名前の由来

「悪の秘密結社を作りたいんだよねー」
「なんでなんで？」

「正義の味方ってつまらないじゃん。
いっつもさ、怒ってばかりじゃん。いつも一人だしさ。」
「だけど、悪の秘密結社って面白そうじゃん。
仲間は全国に居るんだけど、別につるんでる訳じゃないの。
何かの時はシャッと集まって、終わったらシャッと去って行くのさ」

マネージャーの私・勝矢は前職時代から米澤さんの指示ゼロ経営が好きで、10年くらい前、長野で初めての指示ゼロセミナーが開催された時の懇親会でもこんな話を聞いてました。
だから、米澤さんが森本さん、我孫子さん、得居さんと出会って、会社名を「たくらみ屋」にされた時、「あ！ぴったりやん」って思いました。

以下はホームページ「TAKURAMI HISTORY」から抜粋です(*^^*)



【悪の組織をなぜやるか？】

- ・やらされる労働はもうたくさんだ！
- ・我々は好きな仕事をしたい！
- ・楽しく創造的な仕事をしたい！

▲たくらみ屋のキャラクター？POPに登場するショッカーたち

【悪の組織はどんなもの？】

- ・指示命令管理がほとんど破壊されている。
- ・組織の一人一人が明確な野望を共有していて、生き生きしている。
- ・仲間が支えあってチームで仕事をしている。
- ・失敗してもめげない。
- ・常に創意工夫をしている。
- ・ボスは後ろで見ていてほとんど声を出さない。
- ・ボスは良いことがあると「ワッハッハ！」と喜んでくれる。
- ・現場でどんな方法でやるかは、ボスには口出しされない。

こんなことを書いているうちに・・・

「・・・あれ？」「・・・これって悪の組織？」
「・・・結構いい組織だよな。」「・・・どうしようか？」

ってことになり・・・

「ま、いいじゃん。目的はみんな好きな仕事ができるようにだから。」
「奴隷のようなやらされ仕事なくなるのが目的だからね。」
「何か楽しくなってきたね(^-^)」

ってことで、

- ・創造的な集団である
- ・楽しくワクワクをかき立てることを提供する
- ・遊びゴコロがある

こんなコンセプトで創業者たちが名前を出し合いました。
するとたくらみがキーワードとなり、最もシンプルでわかりやすい「たくらみ屋」という名前に決まったのです。

たくらみ屋は

「世界を企む、あなたのプロジェクト実現集団」です。

人や企業・地域、それぞれが本来備わってる才能を発動させる
環境・機会を創ります。

感性的アプローチと科学的ツールを使って。

世代を超え・才能の青天井を伸ばし、自由闊達なる未来を創る。

それぞれ独自のスキルを持つタクラミスト11名があなたの企みに応じてチームを組みます。

教育研修、商品開発、地域創成、イベント、ご縁繋ぎ、一家団欒までお任せください。

タクラミスト11・メンバー紹介はコチラ



ご連絡・ご相談はメンバーのFacebookメッセンジャーか、たくらみ屋HPの手配書まで



たくらみ屋のブログ・ダダ濡れ秘密結社はこちら



たくらみ屋



<https://takuramiya.com/>

たくらみベース 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目10-11マルイト江戸堀ビル2F



たくらみ屋
TAKURAMIYA



マネージャー通信
2019.6



世界を企む、あなたのプロジェクト実現集団

こんにちは。たくらみ屋マネージャー勝矢和美です。

「たくらみ屋って何？」

たくらみ屋が設立して2年が経ちました。創業メンバー・4名全員が代表取締役でそれぞれが独立した別の会社の代表でもあり、拠点も大阪・長野・山形・北九州です。
そこに今年より、7名が加わり、タクラミストは総勢11名になりました。
この7名も各分野のプロで、拠点も全国各地。
この2年間、たくらみ屋と協業してきたメンバーです。

ジャムセッションのようなチーム

「ジャズのようにそれぞれが自由に演奏しながら、自然に音を合わせ、最高のパフォーマンスをしていくのがカッコいいよね！」
だから、固定で動くことはなく、プロジェクトごとに適したメンバーが集まり、終わるとさっと散って行く・・・

ハイ！自由で縛りなく、心地よい組織編成です。

でもあまりにも全容が見えづらいので、今回のマネージャー通信はこの2年間を追いながら、「たくらみ屋って何？」を探ってみようと思います(*^^*)

自律的集団が自分たちの未来を創る

「管理なんてするのもされるのも、面白くないよね。」
「給料だって、自分たちで決めれば良いよね。」
「社員が土地を買いだいたいって、書類を全部揃えて、最後の判子だけをもらいに来たときは、さすがにびっくりしたけど・・・」
「本業は新聞販売店なんだけど、行政からの委託で、町づくりのファシリテーションや、町営ホテルの運営もやるようになったし・・・」
これは、ボス・米澤晋也さんが去年まで代表を務めていた会社で実際にあった出来事です。

「教えない研修」から集団が勝手に良くなる

一方、EC業界を中心に講師歴20年のボス・森本繁生さん。
「教えない企業研修で業績はもちろん、家族や地域も良くなる」
MGやTOCといった科学的経営理論と大学の専攻・臨床心理学を駆使。じゃあ、この先の企業(集団)ってどうなっていくんだろう・・・と調べたところ、「給料を社員・自らが決める」という、米澤さんの指示ゼロ経営ブログに辿りつく。初対面ですっかり意気投合、その時米澤さんの会社見学会に同行した、我孫子勝広さん、得居裕江さんも加わり、4人で会社を設立することになりました。

たくらみ屋HISTORY TOPICS

- 2016**
- 1.15 長野にて4人のポストが会う
 - 4.27 森本さん、米澤さん指示ゼロセミナー初コラボ
 - 8.22 指示ゼロ×T0C合宿開催
「たくらみ屋」命名
 - 10月 たくらみロゴ誕生
 - 11.12 南三陸廃校でビジョンデザイン
 - 12.28 家族MG本格的スタート



たくらみ屋ロゴ誕生

デザインはタクラミストでビジネスデザイナー藤戸佐千世さん
Asia Designer Communication Platformの
イベントやウェブサイトでも紹介され、国際的にも高い評価を
頂いています。



1,111個のバルーンディスプレイ

たくらみベースのオープニングを飾ったのは
バルーンアーティストでポスト得居裕江さん

- 2017**
- 1.27 株式会社たくらみ屋 代表取締役4名で設立登記
 - 2月 米澤さんが代表理事を務める夢新聞協会開催の
長野・小学校の夢新聞ワークショップに森本さん、得居さんサポート参加
 - 3.3 岩手県で子ども商店プロジェクト誕生
 - 4.3 大阪でたくらみベース、拠点スタート
机が入る前のベースで夢新聞メンバーとBMRワーク
 - 5.15 第1回たくらみフェスタ&ベースのオープニングパーティ
 - 6月 マネージャー勝矢和美登場
 - 8.7 山形庄内 子ども商店合宿&講演会
 - 9月 「売上はまちがいでした。ごめんね。プロジェクト」スタート
 - 11.15 第2回たくらみフェスタ開催
ゲスト・聴覚障害のダンサー鹿子澤拳さん、拳さんの母・鹿子澤睦子さん、
車椅子でパラリンピック銀メダリスト馬島誠さん
 - 12月 たくらみ屋とご縁の深い、岩手県 京屋染物店さんが
業務改善日本一のKintone AWARD2017グランプリを受賞



Kintone AWARD2017グランプリ

ご縁の深い岩手・京屋染物店さん受賞



子ども商店プロジェクト初リアル出店



農業TOCスタート

- 1月 子ども商店プロジェクト 小倉と泉大津にて本格的スタート
(タクラミストでフィクサーこと岩田千栄美さん登場)
- 5.3 泉大津で子ども商店初リアル出店
- 6月 泉大津市役所様にて全5回の行政TOC研修実施
- 7月 山形庄内にて農業TOCスタート(我孫子勝広さん)
- 8月 子ども商店夏休み野外合宿開催
- 10月 TOC学会にてタクラミスト3名発表
(鹿子澤睦子さん、我孫子勝広さん、森本繁生さん)
- 11月 バリアTOC(鹿子澤睦子さん)、緊急TOC(鹿子澤浩美さん)スタート



TOC学会にて鹿子澤睦子さん

「生きてるだけで丸ごとTOC」



スイーツTOCスタート



台風被災者の方へもTOCで対応緩和

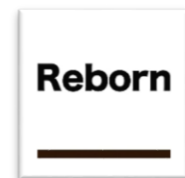
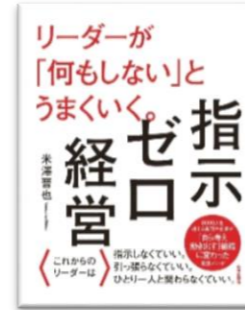
ビジネス分野だけでなく、災害や
緊急時にも効果が大きいことがTOCを
広く伝えて行きたい理由のひとつです。

- 2019**
- 1.8 スイーツTOCスタート(得居裕江さん)
 - 1.14~17 北海道チャリティMG&TOC開催
 - 1.16 第一回農業TOCサミット 山形庄内にて開催
 - 1.18 米澤晋也さん初の書籍出版
 - 1.28 タクラミスト11誕生
 - 1.31 ピントッパーチョコ・チョコロンプス オープン
 - 2月 桃山学院大学様と子ども商店プロジェクト連携決定
 - 2.11 子ども商店プロジェクト×夢新聞ワークショップ
 - 4月 事業継承&次世代幹部育成プログラム:リボーンプロジェクトスタート



チョコロンプス・オープン

米澤晋也さん初書籍出版



リボーンプロジェクトスタート

たくらみ屋って何? 本来備わっている才能が発動できる環境・機会を創ります

【CASE1】 会社の成長風土に心理的安全性が加わって起こった最速イノベーション

たくらみ屋と出会ってまだ半年の写真スタジオさんが最速で、自律型組織へのイノベーションを起こしています。株式会社STUDIO ARC様。スタッフ数は約350名、全国で約20店舗を展開されています。本部スタッフ中心に指示ゼロ×T0Cを数回、社内研修に取り入れながら、テスト店舗に導入4ヶ月。「投入を制約条件に合わせ、成果を出す」予約枠の稼働率52%、前年比150%の実績を出されました。社内改革の推進役、店舗運営課ストアマネージャー・岡崎史江子さんにお話を伺いました。

●心理的安全性を確保することの大切さ

なぜ、みんなが頑張って、良くしようとしているのに、良くならず、心が離れ、想いがズレてしまうのか...その原因が、経営幹部向けの「指示ゼロ×T0C研修」に一人で受講した際、パズルのピースがはまるように理解でき、帰社後、代表に伝え、社内研修実施を決めました。

「制約条件に合わせる」「MO会計」「一人も見捨てない。競争より共創」指示ゼロとT0C、両方の感性と理論が同時に入ったことにより、心理的安全性を確保できたことがイノベーション加速の一番の要因です。

「スタッフたちの想いを聴かせてもらう。」耳の傾け方を意識することで、みんなの才能が発揮できる場になって行きました。これまでは、仲間の潜在能力のすごさを理解できてなかったなと思います。

たくらみ屋史上初、出会って半年の最速イノベーション・STUDIO ARC様の社内改革はこうして走り出しました。これから始まる本格展開で全国各店舗、スタッフさんたちご自身による喜びの創造が、とても楽しみです(*^^*)



STUDIO ARC様の改革の様子を書いた
ブログはこちら

【CASE2】 史実的DNAで農業・介護・製造現場に自律的資質が享受されて行く

山形・庄内にはリーダーだけではなく、一人一人から湧き出る自律的集団への熱気を感じています。

「做うなら庄内の農業と言われるような農業県になる！」これは2019. 1. 16山形県鶴岡市で開催された世界初農業TOCサミットで参加者の方より寄せられた言葉です。これまで主にビジネスで活用されていた科学的経営理論(MO会計×TOC)を現場に取り入れることで農協や国・県とは違った角度から経営を底上げしようと実践始めた農家さんたちの、成功も失敗も含めた事例発表の場がとても白熱していました。

また、介護や縫製現場と言った今まで「数字」と離れていた方々(それぞれ50~70名)がTOC研修を受講されたことで、部分最適から全体最適へと視点が変化しています。

介護施設の方々は研修後何度も自分たちで実践報告会を行い、「利用者の方の笑顔に繋げること」をゴールに継続的改善を繰り返しています。縫製工場の方々は電卓を使うこと自体が何十年ぶりの方も多く、戸惑いがあったにも関わらず、最後には自分たちが主体的となり、どうやったら会社が良くなるかの議論を交わされました。

農業TOCサミットの件も、介護・縫製工場の件もスペースの都合上ほんの一部しか紹介出来てませんが庄内の方々から内なる熱をととても感じます。

庄内地方は江戸時代、庄内藩が統治していた頃から農政や藩教育においても自主自律的であり、それが米の増産や利益拡大、幕末における藩士の活躍に繋がったとのこと。

庄内地方の方々TOCや指示ゼロを享受される自律的資質は地域に根づいているDNAも発動しているに違いないと思うのです(*^^*)



農業TOCのHPはこちら

